

それぞれの婦恋満喫を

「団塊」移住狙い ツアー企画

婦恋村の活性化に取り組む住民グループ「好きです、婦恋」(久保八百子会長)は、団塊世代の退職を機にした移住などを呼び込もうと、同じ参加者が夏、秋、冬の3回にわたって村を訪れる「婦恋満喫ツアー」を企画した。季節ごとの村の様子を知ってもらうだけでなく、移住の際に役立つよう、キャンプ親睦などの農業体験、住居候補としての空き別荘の見学も組まれている。

同グループが相談に乗る。同村によると、近年は空き家や空き別荘が増え、防

犯上の悪影響が心配される一方、都市部からの移住者や、移住に関する問い合わせが増え、こうした企画の反響も期待できるといふ。久保会長は「移住したい人はもちろん、田舎を体験したい人にも気楽に来てほしい。ゆったりした暮らし、

農業の大変さなどを知ってもらえれば」と話している。対象は県内外の田舎暮らしに興味のある人で、先着20人。締め切りは6月30日。夏は1泊3食付きで1万3000円。問い合わせは同村政策推進課(0279・96・1257)。

夏は7月26、27日に、キャンプの植え付け、空き別荘見学、村民との懇親会など。秋は10月18、19日に、キャンプの収穫、自然体験などを行う。冬は1、2月参加者の要望に合わせて、

ツアーの予定で、内容は未定だが、農園の生活の敷しなども体験してもらおうのが狙い。ツアー中は農園を聞き

たい、登山をしたいなど、参加者の要望に合わせて、